



JOBARRANGER FOR ZABBIX

アップグレード情報

6.0.0~6.1.0

著作権の表示

Job Arranger for Zabbix ドキュメントは GPL ライセンスに基づいて配布されていません。

Job Arranger for Zabbix ドキュメントの使用には、次の条件が適用されます。

個人的な使用のみを目的として、本書の印刷コピーを作成することができます。実際内容がいかなる方法でも変更または編集されない限り、他の形式への変換が許可されます。Job Arranger for Zabbix が配布する方法と同様の方法 (つまり、Job Arranger for Zabbix の Web サイトで電子的にダウンロードする) または USB または同様の媒体でドキュメントを配布する場合を除き、いかなる形式または媒体でも本書を公開または配布してはなりません。ただし、ドキュメントが同じ媒体でソフトウェアと一緒に配布される場合に限りです。印刷コピーの配布や、本書の全部または一部を別の出版物で使用するなど、その他の用途には、Job Arranger for Zabbix の権限のある代理人からの事前の書面による同意が必要です。Job Arranger for Zabbix は、上記で明示的に付与されていない、本書に対するすべての権利を留保します。

1. ver 6.0.0⇒6.1.0

バージョン 6.0.0 から 6.1.0 へのアップグレード手順です。

Job Server: RPM

1. サービスの停止を行います。

```
# systemctl stop jobarg-server
```

2. Job Monitor(オプション)を使用している場合は以下のサービスも停止します。

```
# systemctl stop jobarg-monitor
```

3. データベースと設定ファイル(jobarg_server.conf)のバックアップを行います。

4. 現行バージョンの Job Server をアンインストールします。

```
# rpm -e jobarranger-server-<DB>
```

5. 新バージョンの Job Server をインストールします。

```
# rpm -ivh jobarranger-server-<DB>-6.1.x-*.<各 OS 名>.<アーキテクチャ>.rpm
```

6. バックアップした設定ファイルから、設定してあった内容を初期の jobarg_server.conf ファイルに記載します。パラメータについては「[jobarg_server.conf の設定](#)」を参照ください。

7. データベースの情報を更新します。

MySQL

```
# cd /usr/share/doc/jobarranger-server-mysql/database/upgrade/mysql/  
  
# mysql -u DB ユーザ -p パスワード zabbix データベース名 < MySQL_JA_UPGRADE_TABLE-6.0.0-6.1.0.sql
```

PostgreSQL

```
# cd /usr/share/doc/jobarranger-server-postgresql/database/upgrade/PostgreSQL/  
  
# psql -U DB ユーザ zabbix データベース名 < PostgreSQL_JA_UPGRADE_TABLE-6.0.0-6.1.0.sql
```

8. 自動起動を ON にします。

```
# systemctl enable jobarg-server  
  
# systemctl enable jobarg-monitor
```

※アップグレード後の systemctl コマンド実行時 "Unit jobarg-agentd.service could not be found." が発生する場合があります。その時は以下を実行してください。

```
# systemctl daemon-reload
```

9. jobarg-server(jobarg-monitor がある場合それも)を起動させます。

```
# systemctl start jobarg-server  
  
# systemctl start jobarg-monitor
```

Job Agent: Linux

1. サービスの停止を行います。

```
# systemctl stop jobarg-agentd
```

2. 設定ファイル(jobarg_agentd.conf)をバックアップします。
3. 現行バージョンの Job Agent をアンインストールします。

```
# rpm -e jobarranger-agentd
```

4. 新バージョンの Job Agent をインストールします。

```
# cd <rpm をダウンロードしたディレクトリ>  
  
# rpm -ivh jobarranger-agentd-6.1.x<各 OS 名>.<アーキテクチャ>.rpm
```

5. インストールされた設定ファイルに、バックアップした設定ファイルより設定値を転記します。
6. 自動起動を ON にします。

```
# systemctl enable jobarg-agentd
```

7. jobarg-agentd を起動させます。

```
# systemctl start jobarg-agentd
```

Job Agent: Windows

1. 設定ファイルをバックアップします。

```
C:\Program Files\Job Arranger\Job Arranger Agent\conf\jobarg_agentd.conf
```

2. [アンインストール手順](#)によりサービスの停止と旧バージョンの Job Agent をアンインストールします。
3. [インストール手順](#)により新バージョンの Job Agent をインストールします。
4. インストールされた設定ファイルに、バックアップした設定ファイルより設定値を転記します。
5. サービスの開始を行います。
「スタート」→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」
サービス一覧から[Job Arranger Agent]を開始

Job Manager: Windows

Job Manager 6.1.0 は Web アプリケーションに変更されました。そのため、Job Manager 6.1.0 インストールマニュアル<リンク>を参照して、アップグレードする代わりに Job Manager 6.1.0 を直接インストールしてください。